

啓発プログラムとは

こどもたちに体験活動の機会を広く提供します。区、小学校区、中学校区など複数の連合体を単位として、多くの方にその現場に関わっていただくことで、こども体験活動の意義と楽しさを知っていただき、地域でこどもをはぐくむ気運の向上と活性化をめざします。

保護者だけでなく、地域ぐるみでこどもをはぐくむ大切さ、楽しさなど意義を訴えてください。

「大人ミニ研修」は、団体の運営スタッフが、「こどもたいけん」の楽しさを知る、あるいは、こどもたちへのたいけん活動を提供する意義を感じ取っていただけるよう、準備をしています。ぜひ、啓発プログラムと合わせて実施していただくことをお勧めします。

啓発プログラムは3つの実施方法からお選びください。

① 体験コーナー方式

コーナーを設けて、時間を区切って、一定人数ごとに体験していただきます。

まとまった時間、独立した落ち着いた場所の確保が難しい大きなイベントの場合に実施します。

簡単な手順で短時間に体験できるメニューで実施します。

② ステージ方式

ステージを設けて、講師のパフォーマンスと合わせて簡単な体験していただきます。

ステージで鑑賞するだけでなく、できるだけ参加した皆さんが体験でき、交流を深めるメニューで実施します。

③ 一斉体験方式

スポーツやものづくりなどを、こどももおとなも、みんなで楽しめます。

簡単な説明で、誰でもとりくめるようなメニューで実施します。

対象

区、小学校区、中学校区、複数の小学校の連合体などを単位とした、こども育成に携わる団体。地域活動協議会、はぐくみネット、実行委員会などが企画運営することどもの健全育成を主題としたイベント。

参加するこどもは小中学生を予定し、幼児が参加する場合は、保護者の付き添いが必須。

実施場所

大阪市内の会場に限ります（屋外のプログラムの場合、雨天時にも実施できる会場を準備してください）

費用

無料（会場や駐車場にかかる費用、必要な材料費は団体で負担してください）

プログラム提供

1団体につき、1回（特定の地域に集中した場合は調整します）

お問合せ・申込み・受付

おおまかな計画が出来上がった段階で、事務局までお問い合わせください。

原則として申込みはいつでも受け付けますが、実施日と近いと調整できない場合があります。申込用紙はこのパンフレットの裏表紙の申込書をご利用ください。

実施例



地域のお祭りでこども向けイベントとして「ジャグリング」を実施（体験コーナー方式）

こども向けイベントコーナーの一つとして、「ジャグリング」の体験コーナーを実施。体験コーナーに来られた方に、プロのジャグラーが直接、技を伝授し、実際にディアボロ（中国ゴマ）に挑戦。参加したこどもたちは、楽しそうにディアボロ（中国ゴマ）を操り、少し時間が経つと2つのスティックをうまく扱い、カッコいい技を披露するまでに。周りで見っていた保護者もこどもの姿に引き寄せられて、夢中でディアボロ（中国ゴマ）を行う姿も見られ、親子で楽しめるイベントとなった。

小学校区のイベントとしてマジックショー＆体験を実施（ステージ方式）

小学校PTAが企画した保護者・地域の交流イベントで、マジックショー＆体験を実施。PTAが地域全体に呼びかけ、多くの大人が参加し、こどもとともに楽しむイベントとなった。マジック体験の時間には、PTAの運営スタッフが参加したこどもたちへの指導の補助に入り、参加者全員で楽しんでマジックの体験ができた。



区内の生涯学習のイベントで、スポーツチャンバラを実施（一斉体験方式）

区役所と生涯学習推進員の方々が協力し、イベントを開催。こどものみならず、地域のおとなも集まり、講師から、武道であるスポーツチャンバラの基本、あいさつや礼法を学び、最後は試合形式でおとなもこどもも入りまじりスポーツチャンバラを楽しんだ。イベントに参加された方の中に、スポーツチャンバラに興味をもたれた方がいらっしやり、次回のイベントへと結びついた事業となった。

